

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 4月 4日  
 東京都作業部会確認年月日 2019年 4月 10日  
 (契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA)に基づく第1回目の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づき、2019 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019 年 2 月 13 日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、今後締結予定の NESA に基づき、テストイベントで使用した後、最終的に大会本番で使用するネットワーク機器を、発注するものである。</li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021 年 9 月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンター、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な各拠点、競技会場、大会関係施設等において、大会用データネットワークに接続するための機器について、リース契約を締結するものである。</li> <li>・2019年6月からテストイベント（Wave1）が開催されるため、各テストイベント会場等への搬入時期を考慮し、今般、本数量を発注する必要がある。 <b>（2020年8月6日 契約変更に伴う追記）</b></li> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。 <b>（2020年8月6日 契約変更に伴う追記）</b></li> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、NESA に定められた金額及び数量の範囲内での発注であることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各競技会場等への機器配備計画を精緻化し、都負担すべき金額を確定するものとする。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 4月 18日  
 東京都作業部会確認年月日 2019年 4月 24日  
 (契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA)に基づく第2回目の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
<p>経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づき、2019 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。</li> </ul> <p>(2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
<p>事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019 年 2 月 13 日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、今後締結予定の NESA に基づき、早期に構築が必要な会場等で使用するネットワーク機器等の調達を行うとともに、2019 年 8 月以降に納入される機器をキッティングするための環境を Equipment Delivery Centre に構築するものである。</li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul> <p>(2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021 年 9 月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等 が必要性（必要 な内容、機能か など）、効率性 （適正な規模、 単価かなど）、 納得性（類似の ものと比較し て相応かなど） 等の観点から 妥当なもので あること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンター、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な各拠点、競技会場、大会関係施設等において、大会用データネットワークに接続するための機器について、リース契約を締結するものである。</li> <li>・会場等の整備スケジュールを考慮しながら、生産とキitting作業の平準化と安定的な調達を実現するため、今般、本数量を発注する。</li> <li>・なお、2019年8月納入分からNECのキitting作業が開始されるため、ネットワーク機器のキitting環境の構築についても、今回発注する。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市 契約大会 運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、機器調達について、コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、NESA に定められた金額及び数量の範囲内での発注であることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各競技会場等への機器配備計画を精緻化し、都負担すべき金額を確定するものとする。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 5月 8日

東京都作業部会確認年月日 2019年 5月 14日

(契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA)に基づく第3回目の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づき、2019 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019 年 2 月 13 日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、今後締結予定の NESA に基づき、早期に構築が必要な会場等で使用するネットワーク機器等の調達を行うものである。</li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021 年 9 月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等 が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から 妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンター、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な各拠点、競技会場、大会関係施設等において、大会用データネットワークに接続するための機器について、リース契約を締結するものである。</li> <li>・IBC、セカンダリデータセンタ及びテストイベント等で使用するネットワーク機器について、会場等の整備やテストイベントのスケジュールを考慮し、今般、本数量を発注する。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市 契約大会 運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	



	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、NESA に定められた金額及び数量の範囲内での発注であることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各競技会場等への機器配備計画を精緻化し、都負担すべき金額を確定するものとする。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 5月 29日

東京都作業部会確認年月日 2019年 6月 5日

(契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA)に基づく第4回目の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29年 5月 31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づき、2019 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019年 2月 13日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、今後締結予定の NESA に基づき、会場等で使用するネットワーク機器のうち、諸室数によらず必要となる L3 スイッチ及びセカンダリデータセンタのルータ等の調達を行うものである。</li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021年 9月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な各拠点、競技会場、大会関係施設等において、大会用データネットワークに接続するための機器について、リース契約を締結するものである。</li> <li>・会場等の整備スケジュールを考慮しながら、生産及びキitting作業の平準化と安定的な調達を実現するため、今般、本数量を発注する。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、NESA に定められた金額及び数量の範囲内での発注であることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各競技会場等への機器配備計画を精緻化し、都負担すべき金額を確定するものとする。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 7月 1日  
 東京都作業部会確認年月日 2019年 7月 10日  
 (契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA)に基づく第5回目の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
<p>経費の負担が平成 29年 5月 31日の合意の考え方に基づくものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づき、2019 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
<p>事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019年 2月 13日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、今後締結予定の NESA に基づき、会場等で使用するネットワーク機器のうち、諸室数によらず必要となるファイアウォール及び L2 スイッチの他、有明体操競技場等で必要となるライセンスの調達を行うものである。</li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021年 9月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な各拠点、競技会場、大会関係施設等において、大会用データネットワークに接続するための機器について、リース契約を締結するものである。</li> <li>・会場等の整備スケジュールを考慮しながら、生産及びキitting作業の平準化と安定的な調達を実現するため、今般、本数量を発注する。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、NESA に定められた金額及び数量の範囲内での発注であることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各競技会場等への機器配備計画を精緻化し、都が負担すべき金額を確定するものとする。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 7月 16日  
 東京都作業部会確認年月日 2019年 7月 23日  
 (契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA)に基づく第6回目の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29年 5月 31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づく、テクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワーク及び警備用ネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019年 2月 13日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、今後締結予定の NESA に基づき、IBC 及びその他の会場等において、警備用ネットワークに接続するために必要となる L2 スイッチ等を調達するものである。</li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul> <p>(2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021年 9月まで延伸する。</li> </ul>	



<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警備システムは、各会場等の状況把握を可能にし、限られた人的資源の中で、事案発生の未然防止及び事案発生時の早期対応を実現し、円滑な大会運営を実施するために構築されるものである。</li> <li>・警備用ネットワークは、各会場等に構築される警備システムを広域 WAN でつなぎ、センター拠点 (GSCC、MOC) 等から各会場等の情報をリアルタイムに把握するために必要なものである。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な各拠点、競技会場、大会関係施設等において、警備用ネットワークに接続するための機器について、リース契約を締結するものである。</li> <li>・会場等の整備スケジュールを考慮しながら、生産及びキitting作業の平準化と安定的な調達を実現するため、今般、本数量を発注する。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市 契約大会 運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、コスト管理と 3R の観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC 及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、NESA に定められた金額及び数量の範囲内での発注であることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各競技会場等への機器配備計画を精緻化し、都が負担すべき金額を確定するものとする。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 8月 20日

東京都作業部会確認年月日 2019年 8月 28日

(契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA)に基づく第7回目の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29年 5月 31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づく、テクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワーク及び警備用ネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019年 2月 13日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、今後締結予定の NESA に基づき、以下の業務を発注するものである。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① Main Distribution Centre 及びその他の会場等において使用するネットワーク機器の調達</li> <li>② これまでに調達してきた機器及び本案件で発注する機器のキッティング作業の委託</li> </ul> </li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021年 9月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・また、警備用ネットワークは、各会場等に構築される警備システムを収容し、センター拠点（GSCC、MOC）等から各会場等の情報をリアルタイムに把握するために必要なものである。</li> <li>・本案件は、会場等において、大会用データネットワーク及び警備ネットワークに接続するための機器についてのリース契約及びキitting作業の業務委託契約を締結するものである。</li> <li>・会場等の整備スケジュールを考慮しながら、生産及びキitting作業の平準化と安定的な調達を実現するため、今般、本数量を発注する。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、2019年2月13日の作業部会において、すでに確認した NESA の金額の範囲内での発注であることを確認した。</li> <li>・NESA に定められた単価で発注されていることを確認した。</li> <li>・なお、一部機器について、NESA に定められた最低発注台数を超えるが、警備ネットワークの設計が進捗し、数量が確定したことによるものであり、必要数量が積算されていることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各競技会場等への機器配備計画を精緻化し、都が負担すべき金額を確定するものとする。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 9月 11日

東京都作業部会確認年月日 2019年 9月 18日

(契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA)に基づく第8回目の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29年 5月 31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づく、テクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワーク及び警備用ネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019年 2月 13日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、今後締結予定の NESA に基づき、会場等で使用するネットワーク機器のうち、諸室数によらず必要となる L2 スイッチの他、選手村の設計が進み、数量が確定した L3 スイッチ及び L2 スイッチの調達を行うものである。</li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021年 9月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な各拠点、競技会場、大会関係施設等において、大会用データネットワークに接続するための機器について、リース契約を締結するものである。</li> <li>・会場等の整備スケジュールを考慮しながら、生産及びキitting作業の平準化と安定的な調達を実現するため、今般、本数量を発注する。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、2019年2月13日の作業部会において、すでに確認した NESA の金額の範囲内での発注であることを確認した。</li> <li>・NESA に定められた単価で発注されていることを確認した。</li> <li>・なお、一部機器について、NESA に定められた最低発注台数を超えるが、選手村の設計が進捗し、数量が確定したことによるものであり、必要数量が積算されていることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各競技会場等への機器配備計画を精緻化し、都が負担すべき金額を確定するものとする。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。



&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 10月 15日  
 東京都作業部会確認年月日 2019年 10月 25日  
 (契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA)に基づく第9回目の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29年 5月 31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づく、テクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワーク及び警備用ネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019年 2月 13日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、NESA に基づき、会場で使用するネットワーク機器のうち、着工が早い会場の設計が進み、数量が確定した L2 スイッチ及び無線アクセスポイントの調達を行うものである。</li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021年 9月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な各拠点、競技会場、大会関係施設等において、大会用データネットワークに接続するための機器について、リース契約を締結するものである。</li> <li>・会場の整備スケジュールを考慮しながら、生産及びキitting作業の平準化と安定的な調達を実現するため、今般、本数量を発注する。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、2019年2月13日の作業部会において、すでに確認した NESA の金額の範囲内での発注であることを確認した。</li> <li>・NESA に定められた単価で発注されていることを確認した。</li> <li>・なお、一部機器について、NESA に定められた最低発注台数を超えるが、着工が早い会場の設計が進捗し、数量が確定したことによるものであり、必要数量が積算されていることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各競技会場等への機器配備計画を精緻化し、都が負担すべき金額を確定するものとする。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 11月 20日  
 東京都作業部会確認年月日 2019年 11月 27日  
 (契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA) に基づく第 10 回目の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
<p>経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づく、テクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
<p>事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワーク及び警備用ネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019 年 2 月 13 日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、NESA に基づき、会場等で使用するネットワーク機器のうち、設計が進み、利用が確実な機器の調達を行うものである。</li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul> <p>(2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021 年 9 月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な各拠点、競技会場、大会関係施設等において、大会用データネットワークに接続するための機器について、リース契約を締結するものである。</li> <li>・会場の整備スケジュールを考慮しながら、生産及びキitting作業の平準化と安定的な調達を実現するため、今般、本数量を発注する。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、2019年2月13日の作業部会において、すでに確認した NESA の金額の範囲内での発注であることを確認した。</li> <li>・NESA に定められた単価で発注されていることを確認した。</li> <li>・なお、一部機器について、NESA に定められた最低発注台数を超えるが、会場等の設計が進捗し、数量が確定したことによるものであり、必要数量が積算されていることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各競技会場等への機器配備計画を精緻化し、都が負担すべき金額を確定するものとする。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 12月 10日

東京都作業部会確認年月日 2019年 12月 17日

(契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA) に基づく第 10 回目の追加発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づく、テクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワーク及び警備用ネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019 年 2 月 13 日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、NESA に基づき、会場等で使用するネットワーク機器のうち、設計が進み、利用が確実なアクセスポイントの調達を行うものである。</li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021 年 9 月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な各拠点、競技会場、大会関係施設等において、大会用データネットワークに接続するための機器について、リース契約を締結するものである。</li> <li>・会場の整備スケジュールを考慮しながら、生産及びキitting作業の平準化と安定的な調達を実現するため、今般、本数量を発注する。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	



	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、2019年2月13日の作業部会において、すでに確認した NESA の金額の範囲内での発注であることを確認した。</li> <li>・NESA に定められた単価で発注されていることを確認した。</li> <li>・なお、一部機器について、NESA に定められた最低発注台数を超えるが、会場等の設計が進捗し、数量が確定したことによるものであり、必要数量が積算されていることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各会場等への機器配備計画を精緻化し、都が負担すべき金額を確定するものとする。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 12月 12日

東京都作業部会確認年月日 2019年 12月 17日

(契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA) に基づく第 11 回目の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づく、テクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワーク及び警備用ネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019 年 2 月 13 日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、NESA に基づき、以下の業務を発注するのである。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 実施設計に基づき、会場等で使用が確定したネットワーク機器の調達</li> <li>② これまでに調達してきた機器及び本案件で調達する機器のキッティング作業の委託</li> </ul> </li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021 年 9 月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な各拠点、競技会場、大会関係施設等において、大会用データネットワークに接続するための機器について、リース契約を締結するものである。</li> <li>・会場の整備スケジュールを考慮しながら、生産及びキitting作業の平準化と安定的な調達を実現するため、今般、本数量を発注する。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、2019年2月13日の作業部会において、すでに確認した NESA に定められた単価で発注されていることを確認した。</li> <li>・NESA に定められた最低発注台数を超えるが、会場等の設計が進捗し、数量が確定したことによるものであり、必要数量が積算されていることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各会場等への機器配備計画を精緻化し、都が負担すべき金額を確定するものとする。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt; 個別案件確認表（東京都） &gt;

東京都担当確認年月日 2020年 2月 28日

東京都作業部会確認年月日 定額未満

(契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 NEC との NETWORK EQUIPMENT SUPPLY AGREEMENT (NESA) に基づく第 12 回目の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づくテクノロジーのインフラに係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づいていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各 FA など、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>・大会用データネットワーク及び警備用ネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）の内容を 2019 年 2 月 13 日の作業部会においてすでに確認した。</li> <li>・本案件は、NESA に基づき、ステークホルダ向けインターネットサービスで Web 認証を実施するための Web 認証基盤構築に必要な認証用ネットワーク機器の調達を行うものである。</li> <li>・以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul> <p>(2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021 年 9 月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等 が必要性（必要 な内容、機能か など）、効率性 （適正な規模、 単価かなど）、 納得性（類似の ものと比較し て相応かなど） 等の観点から 妥当なもので あること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、ステークホルダ向けインターネットサービスでユーザ認証を行うために必要な認証用ネットワーク機器について、リース契約を締結するものである。</li> <li>・要件が確定したため、構築等のスケジュールを考慮し、今般、本数量を発注する。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市 契約大会 運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織委員会では、コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、NEC及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、リユースの実現、調達価格の削減を図っていることを確認した。</li> <li>・認証を行う端末数をもとに、必要な機器の数量を算出していることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は、2019年2月13日の作業部会において、すでに確認した NESA に定められた単価で発注されていることを確認した。</li> <li>・費用分担については、実際の各会場等への機器配備計画を精緻化し、都が負担すべき金額を確定するものとする。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本案件の経費を公費で負担することは適切と考えられる。</li> <li>・予算内であることを確認しているが、2019年度末に、大会経費の都の枠内であることを改めて確認する。</li> </ul> <p>(令和2年3月30日追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会経費の都の枠内に収まっていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日	2020年	8月	6日
東京都作業部会確認年月日	2020年	8月	7日

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 大会延期に伴うネットワーク機器の保守延長契約について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会延期に伴い必要が生じた事案であり、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織委員会は、大会においてテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、IOC、パートナー及び各FAなど、多くの関係者と調整し、準備を進めてきた。</li> <li>大会用データネットワークに接続するために必要となる機器の調達については、ネットワーク機器のカテゴリパートナーである NEC との包括的な契約（以下「NESA」という。）を締結するなどして、会場等の整備スケジュールを考慮しながら、安定的な調達を実現してきた。</li> <li>本案件は、大会延期に伴い、すでに調達しているネットワーク機器のリース期間を延長することから、保守についても期間を延長する必要がある、契約形態を考慮して、別途、大会期間終了までの保守契約を NEC に発注するものである。</li> <li>以上より、引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul>	



<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されており、各会場のテストイベントから、競技大会の終了までの期間で必要とされている。</li> <li>大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>本案件は、大会延期に伴い、大会運営に必要な各拠点、競技会場、大会関係施設等において、大会用データネットワークに接続するための機器について、リース契約の延長にあわせ、大会終了までの機器保守の契約を発注するものである。</li> <li>2020年10月以降も既存契約に基づき、最低限のコストで保守を継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交渉を行い、本来は年単位での保守が原則のところ、月単位での保守を可能とし、その上で、2021年9月以降の保守費用の削減、未使用の機器の停止期間の設定等を行うことで、コスト削減を図っていることを確認した。</li> <li>価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> <li>Equipment Delivery Centre (EDC) のオンサイト保守（現地駆けつけ保守）については、機器標準価格に対する割合で価格が決まっており、組織委員会の既存のデータネットワークのオンサイト保守と比較し、その割合が下回っていることから、妥当であることを確認した。</li> </ul>	
	<p>納得性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

## &lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 1月 17日  
 東京都作業部会確認年月日 2019年 1月 23日  
 (契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 警備ネットワーク関連業務委託（詳細設計）に必要な機器調達について

確認の視点	東京都の見解	備考
<p>経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づき、平成 31 年度に予算要求したテクノロジーのインフラである大会関係者向け LAN 設備に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
<p>事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っている。</li> <li>・通信サービスパートナー企業は、電気通信供給契約に基づき、大会用データネットワークの基本設計及びその後の要件見直しを実施し、その成果物として組織委員会に基本設計書を提出しており、現在は詳細設計と検証業務を行っているところである。</li> <li>・また、警備ネットワークについても、同様に基本設計を実施し、組織委員会に基本設計書を提出しており、今後詳細設計、検証業務及び運用業務設計が予定されている。</li> <li>・本案件は、大会用データネットワークの基本設計や警備ネットワークの基本設計に基づいて実施される警備ネットワークの詳細設計業務等に必要な機器を調達するものである。</li> <li>・以上より、本案件についても引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021 年 9 月まで延伸す</li> </ul>	

		る。	
<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>警備システムは、撮影によるベニュー等の状況把握等を可能にし、限られた人的資源の中で、事案発生時の未然防止及び事案発生時の早期対応を実現し、円滑な大会運営を実施するために構築されるものである。</li> <li>警備ネットワークは、各ベニューに構築される警備システムを広域 WAN でつなぎ、センター拠点 (GSCC、MOC) から各ベニューに設置されたカメラ映像等をリアルタイムに把握するために必要なネットワークであり、既に基本設計を実施済みである。</li> <li>本案件は、警備ネットワークの基本設計等に基づいて実施される警備ネットワークの詳細設計、検証業務及び運用設計業務を行うために必要な機器を調達するものであり、大会運営のために必要な業務である。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市 契約大会 運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>別契約にてレンタルする機器を除き、検証業務で使用する機器については、運用開始時に本番用機器として転用する方針としており、機器台数の数量削減に努めている。</li> <li>調達する機器については、コスト管理と 3R の観点から購入契約とリース契約を比較検討し、供給権を持つパートナー及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、調達価格の削減を図っている。</li> <li>検証時に構築するデータセンターの疑似環境は、本番環境と同等の機能を利用できるスモール構成とすることにより、調達台数が最低限となるよう図られている。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートナーが示す各機器の提供価格は、組織委員会で過去、供給先から実際に調達したシステム関係の物品の値引き率と同等以上であることを組織委員会で確認している。</li> <li>・警備ネットワークは、コスト削減と効率化のため、基本設計にて大会用データネットワークに重畳することとしているため、独立したネットワークとして構築するよりも、機器の総台数は抑えられている。</li> <li>・通信サービスパートナー企業及びセキュリティ関係者と連携し、事前に構成バリエーションを複数検討することにより、機器の調達台数が最低限となるよう努めている。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本事業の経費を公費で負担することは適切と考えられる。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

## &lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2018年 6月 1日

東京都作業部会確認年月日 定額未満

(契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 大会用データネットワークの試験ネットワーク環境向け機器の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、大卒の合意に基づき、平成 30 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者 LAN 整備）に係る経費である。</li> <li>・経費分担については、大卒の合意及びそれに基づき計上された予算内である。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大卒の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラ整備をする役割を担っている。</li> <li>・組織委員会は大会においてテクノロジーサービスの提供及び運営に関する責任を持ち、I O C、パートナー企業及び各 F A など、多くの関係者と調整、協力しながら整備を進めている。</li> <li>・全会場にわたる競技用システムの環境構築のために必要な試験環境等の構築に関し、基本設計は組織委員会の発注で既に実施されている。</li> <li>・本事業はその基本設計書に基づき、機器を調達するものである。</li> <li>・以上より、本事業についても引続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021 年 9 月まで延伸する。</li> </ul>	

	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業は、開催都市契約大会運営要件等において定められているリザルト・情報サービス等、競技用システムに関する試験を行うために必須である。</li> <li>・本事業で必要な機器は、テクノロジーパートナー等と協議し、実施された基本設計の中で、過去の実績等を踏まえて仕様が定められている。</li> <li>・今回調達される機器は、その基本設計の内容に沿うものである。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>・HCC-OR TEC 03,04,07</p>
<p>経費の内容等が必要性(必要な内容、機能かなど)、効率性(適正な規模、単価かなど)、納得性(類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること</p>	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当初の要件では、試験環境として要求されている7競技分すべてについて、冗長の試験を行う前提となっていたため、7セット×2台の14台分の機器調達が必要であった。</li> <li>・今回は試験であることから、テクノロジーパートナーと協議を重ね、冗長の試験については、2セット分とすることで、2セット×2台の4台とシングル構成5台の合計9台分の機器調達を行うことで必要調達台数を削減している。</li> <li>・必要台数の見直し後、さらにサーバを共用することで調達価格の合計を縮減している。</li> <li>・コスト管理の観点から購入契約とリース契約を比較検討し、供給権を持つパートナー及びリース会社と協議の上、リース契約を選択、リユースの実現、調達価格の削減を図っている。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートナーが示す提供価格は、組織委員会で過去、供給先から実際に調達したシステム関係の物品の値引き率と同等であることを組織委員会で確認している。</li> <li>・また、パートナーから提示された各機器の提供価格について、市場での他の事例と比較した結果、価格が過大となっていないことを確認した。</li> <li>・今後、調達管理委員会への付議、調達部での交渉を通じ、さらなる費用の縮減に努めていただきたい。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会用のネットワーク構築は、大会開催に必須であり、本事業は、そのネットワーク構築において必要なものである。</li> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき、本事業の経費を公費で負担することは適切である。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt; 個別案件確認表（東京都） &gt;

東京都担当確認年月日 2018年 10月 18日  
 東京都作業部会確認年月日 2018年 10月 25日  
 (契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 晴海トリトンの各センター構築およびオフィス増床に伴う機器調達について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づき、平成 30 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係る経費である。</li> <li>・経費分担についても、大枠の合意に基づいている。</li> <li>・発注予定金額は V2 予算内であることを確認した。 (2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っている。</li> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーサービスの提供及び運営に関する責任を持ち、IOC、パートナー企業及び各 FA など、多くの関係者と調整、協力しながら整備を進めている。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要なオペレーションセンター等を開設する晴海トリトンにおいて、ICT 環境を構築するためのネットワーク機器及び電話機を調達するものである。</li> <li>・組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信供給契約に基づき、データネットワークの基本設計を実施し、その成果物として組織委員会に基本設計書を提出している。</li> <li>・ネットワーク機器については、カテゴリーパートナー企業である NEC と協議の上、リース会社と契約する。また、電話機については、NEC からの購入契約により調達を行う。</li> <li>・いずれも、組織委員会が電気通信供給契約を締結した通信サービスパートナー企業と協議し、既に実施されたデータネットワークの基本設計及びその後の要件</li> </ul>	



	<p>見直しに基づき、実施されるものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以上より、本案件についても引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存契約の機器リース期間を2021年9月まで延伸する。</li> </ul>	
<p>経費の内容等が必要性(必要な内容、機能かなど)、効率性(適正な規模、単価かなど)、納得性(類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンター、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な各センターと組織委員会職員用オフィスにおいて、大会用データネットワークに接続するICT環境を構築するための機器を調達するものであり、大会運営に必要な業務である。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>

	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク機器については、コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、供給権を持つパートナー及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、調達価格の削減を図っている。</li> <li>・電話機については、リース契約と購入契約を検討した結果、コスト面から、引き取り、撤去費も含めて購入契約の方が安価であるため、購入契約を選択していることを確認した。なお、大会後の3Rの観点については、後日検討することとなっていることから、今回の契約には、引き取り、撤去費は含まれていないことを確認している。</li> <li>・一部の機器については、通信カテゴリーパートナー企業等と協議の上、アクセススイッチの集約やTV会議システムのネットワークへの接続方法の見直し等を行い、機器の必要数量を精査し、削減することでコストの最適化を図っていることを確認した。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	
	<p>納得性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートナーが示す提供価格は、組織委員会で過去、供給先から実際に調達したシステム関係の物品の値引き率と同等程度であることを組織委員会で確認している。</li> <li>・今後、調達管理委員会への付議、調達部での交渉を通じ、さらなるコストの削減に努めていただくとともに、3Rの観点から、購入調達する電話機については、再利用等についても引き続き検討していただきたい。</li> <li>・費用分担については、今後、各センターとオフィス部分の機能、機器の使用状況等を精緻化した上で、都負担すべき金額について、確定するものとする。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	

<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき、本事業の経費を公費で負担することは適切である。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>	
---------------------------------------	--	--

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2018年 10月 18日  
 東京都作業部会確認年月日 定額未滿  
 (契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 大会用データネットワークの移行に伴う機器調達等について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づき、平成 30 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係る経費である。</li> <li>・経費分担についても、大枠の合意に基づいている。</li> <li>・発注予定金額は V2 予算内であることを確認した。 (2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラ整備をする役割を担っている。</li> <li>・組織委員会は、大会においてテクノロジーサービスの提供及び運営に関する責任を持ち、IOC、パートナー企業及び各 FA など、多くの関係者と調整、協力しながら整備を進めている。</li> <li>・組織委員会と通信サービスパートナー企業は、電気通信供給契約に基づき、データネットワークの基本設計及びその後の要件見直しを実施しており、現在はその内容に沿って、詳細設計を進めている。</li> <li>・本案件は、既存のデータネットワークから大会用データネットワークに移行するために必要な中継機器及び拠点検証用機器に加え、大会用データネットワークに必要なスイッチ類を、カテゴリーパートナー企業である NEC と協議の上、リース会社と契約して機器を調達するものである。</li> <li>・以上より、本事業についても引続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 (2020 年 8 月 6 日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021 年 9 月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等 が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>・本案件は、既存のデータネットワークから大会用データネットワークに移行し、大会用データネットワークを安定的に稼働するために必須の機器を調達するものである。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市 契約大会 運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データネットワークの移行に使用する機器については、移行完了後、本番環境用に流用することとしており、調達した機器が無駄にならないようコストの削減に努めている。</li> <li>・コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、供給権を持つパートナー及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、調達価格の削減を図っている。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機器調達の方針として、オーバースペックとならないよう、データネットワークの基本設計で定められているネットワークの構成から、要件の見直しを行い、さらに詳細設計を進めていく中で、時期に合わせて必要な機器を必要な台数だけ、段階的に調達することとしている。</li> <li>・パートナーが示す提供価格は、組織委員会で過去、供給先から実際に調達したシステム関係の物品の値引き率と同等程度であることを組織委員会で確認している。</li> <li>・今後、調達管理委員会への付議、調達部での交渉を通じ、さらなるコストの削減に努めていただきたい。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき、本事業の経費を公費で負担することは適切である。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2018年 7月 6日  
 東京都作業部会確認年月日 2018年 7月 11日  
 (契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 大会用データネットワークに係る機器の発注について

確認の視点	東京都の見解	備考
経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠の合意に基づき、平成 30 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係る経費である。</li> <li>経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の対象となっている。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>大枠の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラ整備をする役割を担っている。</li> <li>組織委員会は、大会においてテクノロジーサービスの提供及び運営に関する責任を持ち、IOC、パートナー企業及び各 FA など、多くの関係者と調整、協力しながら整備を進めている。</li> <li>組織委員会は、既の実施されたデータネットワークの基本設計及びその後の要件見直しに基づき、機器を調達するものである。</li> <li>以上より、本事業についても引続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存契約の機器リース期間を 2021 年 9 月まで延伸する。</li> </ul>	

	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>・大会用データネットワークは、大会時にデータセンタ、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークである。</li> <li>・本案件は、そのデータネットワークの稼働に必須の機器を調達するものである。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04
経費の内容等が必要性(必要な内容、機能かなど)、効率性(適正な規模、単価かなど)、納得性(類似のものと比較して相応かなど)等の観点から妥当なものであること	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調達する機器の台数については、既に実施されたデータネットワークの基本設計時に予定していた数量から、データネットワークの構成を見直すことにより、機器台数の削減を図っている。</li> <li>・また、ライセンス費、保守費の削減のため、関係者へのヒアリング等を通じ、必要な機器を必要となる時期に調達することにより、トータルコストを削減している。</li> <li>・通信環境検証のため、4種類のモデルベニューについての機器を調達するが、その機器については本番環境用に転用することとしている。</li> <li>・コスト管理と3Rの観点から購入契約とリース契約を比較検討し、供給権を持つパートナー及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、調達価格の削減を図っている。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>・価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	



	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機器調達の方針として、オーバースペックとならないよう、データネットワークの基本設計で定められているネットワークの構成から、さらに要件の見直しを実施し、時期に合わせて段階的な調達を実施することとしている。</li> <li>・パートナーが示す提供価格は、組織委員会で過去、供給先から実際に調達したシステム関係の物品の値引き率と同等程度であることを組織委員会で確認している。</li> <li>・今後、調達管理委員会への付議、調達部での交渉を通じ、さらなるコストの削減に努めていただきたい。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会用のネットワーク構築は、大会開催に必須であり、本事業は、そのネットワーク構築において必要なものである。</li> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき、本事業の経費を公費で負担することは適切である。 (2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。

&lt;個別案件確認表（東京都）&gt;

東京都担当確認年月日 2019年 1月 9日  
 東京都作業部会確認年月日 定額未満  
 (契約変更に伴う再確認年月日 2020年 8月 7日)

事業名 通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）

案件名 MDC-EDC 構築に伴う機器調達について

確認の視点	東京都の見解	備考
<p>経費の負担が平成 29 年 5 月 31 日の合意の考え方に基づくものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意に基づき、平成 30 年度に予算計上したテクノロジーのインフラ（大会関係者向け LAN 設備）に係るものである。</li> <li>・経費分担については、大枠の合意に基づき計上された予算の範囲内となっている。</li> <li>・発注予定金額は、通信インフラ（大会関係者向け LAN 設備）の V3 予算内であることを確認した。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・なお、延期に伴う追加経費の取扱いは、現時点で未定である。</li> </ul>	
<p>事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大枠の合意においては、経費分担に関わらず、組織委員会がテクノロジーのインフラの整備を実施する役割を担っており、大会時にデータセンター、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークの設計を進めている。</li> <li>・本案件は、大会運営に必要な物品を集約・配送する Main Distribution Centre（以下「MDC」という。）と PC 端末等の設定等を行う Equipment Delivery Centre（以下「EDC」という。）において、大会用データネットワークに接続する ICT 環境を構築するためのネットワーク機器を調達するものである。</li> <li>・各 FA から人員配置等をヒアリングした上で、パートナー企業と協議しながら、必要な仕様及び数量を決定する等、多くの関係者と調整、協力しながら準備を進めている。</li> <li>・以上より、本案件についても引き続き、組織委員会が一括して執行することが効率的・効果的である。 (2020年 8月 6日 契約変更に伴う追記)</li> <li>・既存契約の機器リース期間を 2021 年 9 月まで延伸する。</li> </ul>	

<p>経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること</p>	<p>必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開催都市契約大会運営要件においては、大会のインターネットサービス等の供給を確保することが示されている。</li> <li>大会用データネットワークは、大会時にデータセンター、組織委員会の各拠点、競技会場、大会関係施設等の間を接続する、大会運営の基盤となるネットワークであり、安定的にステークホルダーに提供しなければならない。</li> <li>本案件は、大会運営に必要な MDC 及び EDC に ICT 環境を構築するためのネットワーク機器を調達するものであり、大会運営に必要な業務である。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2020年10月以降も最低限のコストで機器リースを継続するためには、現時点で手続きが必要であることを確認した。</li> </ul>	<p>開催都市契約大会運営要件 TEC03, 04</p>
	<p>効率性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調達する機器については、コスト管理と 3R の観点から購入契約とリース契約を比較検討し、供給権を持つパートナー及びリース会社と協議の上、リース契約を選択し、調達価格の削減を図っている。</li> <li>機器の数量については、サービスデリバリー部が各 FA からヒアリングを行い、アクセスポイントのカバーエリアを図面に落とし込んだ上で、必要最低限の数量となるよう精査されている。</li> </ul> <p>(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>購入とリースのコストを比較した上で、リース契約の継続を選択していることを確認した。</li> <li>価格交渉を実施し、コスト削減を図っていることを確認した。</li> </ul>	

	納 得 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の機器については、業務効率化等を目的として、ユーザー側が設定等のオペレーションを行うことを想定した仕様となっている。</li> <li>・オフィスの移転に伴う撤去機器については、MDC 及び EDC で転用することとしており、本案件における調達機器台数を削減している。</li> <li>・当初調達が予定されていた電話機については、MDC を利用する関係者間の調整により、追加調達を行わず、既調達分にて賄うことを確認した。</li> <li>・パートナーが示す各機器の提供価格は、組織委員会で過去、供給先から実際に調達したシステム関係の物品の値引き率と同等以上であることを組織委員会で確認している。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース機器に関する保守契約や、今後予定されている追加の機器発注についても、大会運営の方向性等を考慮し、適宜見直し等を実施することで、さらなるコスト最適化を継続していただきたい。</li> </ul>	
<p>その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会成功に向けて、大会開催都市としての責任を持つ東京都が大枠の合意に基づき確認した結果、本事業の経費を公費で負担することは適切と考えられる。</li> </ul> <p style="color: red;">(2020年8月6日 契約変更に伴う追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延期に伴う追加経費については、既存経費も含めて可能な限りの効率化、精査を図ること。</li> <li>・また、延期に伴う追加経費については、現時点においては、その取扱いが未定であるため、当面組織委予算の執行とする。</li> </ul>		

\*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。